

令和5年3月27日

まちなか図書館 × 豊橋信用金庫 連携企画

「アイデアのつくり方」セミナー&ワークショップを開催しました。

豊橋信用金庫（理事長 山口 進、以下「当金庫」という。）は、令和5年3月22日（水）25日（土）の2日間、まちなか図書館にて「アイデアのつくり方」セミナー&ワークショップを開催しました。

意外と知られていない「アイデアのつくり方」。ふだんから使える「発想法」を用いて、グループワークでアイデアを発想する体験を通じて、企画に苦手意識を持っている人でも、90分後には自分の創造性に少しだけ自信が持てるようになる講座です。今回は、アイデアの「お題」と「発想法」を変えて、インプット（セミナー）とアウトプット（ワークショップ）を混ぜる形式で2回実施しました。

振り返りでは、アイデア発想で大切な3つのキーワードを伝え、「頭の中にあるルールは本当に正しいのか、常に問いかけること」、「常識を疑うこと」、「最大公約数が正しいとは限らないこと」などのアイデアを生み出す思考法を事例を交えながら紹介しました。

参加した方からは、「みんなで楽しみながらアイデアを考えることで、色々な発想が生まれた。グループワークで得る気づきも多く、おもしろかった。」「知らず知らずのうちに、自分で自分の思考や発想に制限をかけていたことがわかった。」「アイデアに型があるなんて知らなかった。企画に対する苦手意識が消えた。」などの声が寄せられました。



「アイデアのつくり方」セミナー&ワークショップの概要

テ ー マ	アイデアのつくり方 ～ 自分の創造性に自信を持つ～
講 師	事業支援部 西郷 鎮廣 【中小企業診断士 事業構想修士（MPD/Master of Project Design） 経営情報学修士】
内 容	①言葉の力 技術革新よりも前にあるもの ②アイデアの型を知る アイデアの定義と発想法、アイデア発想の肝 ③アイデアを発想する グループワークによるアイデアづくり

	④振り返り アイデア発想において大切な3つのキーワード
日 時	令和5年3月22日(水) 18:30~20:00 令和5年3月25日(土) 15:00~16:30
会 場	まちなか図書館 ワークショップスペース
参加人数	各回10名程

とよしんの金融教育

当金庫では、平成20年度から金融教育出前授業に取り組んでいます。これまでに小・中学校から高校、専門学校まで合計7,000名を超える児童・生徒に金融教育を実施し、「お金の大切さ」を伝えてきました。3年程前からは、アントレプレナーシップ教育・スタートアップ創出推進の機運の高まりを受け、「起業の楽しさを知る～アイデアのつくり方～」の出前講座も並行して行っています。

今後も地域の子供たちに正しい金銭感覚を身に付けるとともに、地域の未来を担う起業家育成を支援し、子どもたちの健やかな成長と地域の発展に貢献していきます。

豊橋信用金庫について

豊橋信用金庫は、大正10年の創業以来、地域金融機関存立の原点に立って、今日まで一貫して「できるだけ多くの皆様と接し、その取引を通じ、地域社会の発展に貢献する」ことに努めてきました。今後も、金融環境の変化への備えに万全を期し、地域に密着した営業活動と健全で堅実な経営により、「地域社会のみなさまに信用され頼られ愛される信用金庫」を目指し、地域の面的活性化に取り組み、地域金融機関としての役割を果たしてまいります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

豊橋信用金庫 事業支援部（担当：西郷）

TEL：0532-57-7033

FAX：0532-57-7120